

# 請願 陳情

9月定例会では、請願5件を新たに受理し、継続審査分の請願2件とあわせて審議しました。その結果、すべて継続審査としました。

陳情については、継続審査分の陳情11件を審議しました。その結果1件を採択し、1件の取り下げを承認、9件を継続審査としました。また、新たに受理した陳情1件については、全議員及び執行機関に陳情書の写しを配付しました。

採択した陳情の要旨は次のとおりです。

## 市立大沼保育園の 建てかえ(陳情)

平成11年7月、国から少子化意見や要望が市に向け出され、対策臨時特例交付金が交付された。しかし、残念ながら受け入れていただけませんでした。市の説明によると、工事期間中は1年2か月も予定されています。

この間、安全の確保にはできるだけ配慮するということが、保育士の増員や、工事中安全に遊べる遊び場の確保等についての具体的な安全対策は十分とは思えません。

本来、少子化対策臨時特例交付金は、待機児解消を含め、子どもをより産みやすく、育てやすい社会にするために国が交付するものであり、よりよい保育が行えるよう使われるべきものです。1年以上の間、子どもたちは工事現場と同じ敷地で生活するために高い防護フェンスに囲まれた状態になり、目に見えない精神的負担を負うことも考えられます。子どもを巻き込んだ悲しい事件も多く、不特定多数の人の出入りや、万一の事故、災害時などに対する不安は尽きません。

新園舎の設計においても、子どもの安全や実際の保育状況を踏まえたものとは考えにくく、今後何十年も使われる施設であることを考慮するならば、ぜひとも常識的な、子ども・父母・職員などの利用者にも受け入れられる保育園を建てていただきたいと願い、次の事項について陳情いたします。

- 1 大沼保育園の建てかえ工事中、工事車両、工事関係者の出入りに関するチャック体制、安全確保のための保育委員など、安全対策を具体的に示してください。
- 2 大沼保育園の工事期間中、保育の基本となる、遊ぶことが行われていたことが明らかにされました。1980年代後半から1990年代にかけて、米国ゼネラル・エレクトリック・インターナショナル社が原子炉内部の重要な機器についての自主点検で、炉内機器に亀裂や損傷を発見していたにもかかわらず、東京電力株式会社は虚偽の記載をしていた疑いが明らかになりました。

# 意見書

9月定例会では、議員提出議案の可決により、1件の意見書を関係機関へ送付しました。

意見書とは、市など地方公共団体の公共の利益に関することについて、議会としての意思をまとめ、国会または関係行政庁に意見として提出するものであり、地方自治法第99条に定められています。

東京電力株式会社による原子力発電所の事実隠しへの厳正な処置を求める意見書

東京電力株式会社の福島第一、第二及び柏崎刈羽原子力発電所で、10年以上にわたり事実隠し

園庭ひろびろ 建てかえが終わった新・大沼保育園



亀裂やその兆候の疑いのある原子力発電所は5基です。原子炉内部の安全上極めて重要な機器における亀裂や損傷が隠されたまま運転されていたことは、国民の多くに不安感を広げています。

亀裂や損傷の疑いのある原子炉は直ちに停止し、公正な第三者機関による総点検と事実隠しの真相究明を行い、その上での適切な修理等を施すのは当然のことです。

よって本市議会は、政府とりわけ原子力安全・保安院に対して厳正な処置をとることを求めます。

内閣総理大臣、経済産業大臣 へ

## 今後の市議会の日程(予定)

開会時刻は原則として午前9時、場所は市役所7階

11月5日(火)	決算特別委員会(一般会計)
11月6日(水)	決算特別委員会(一般会計)
11月7日(木)	決算特別委員会(一般会計)
11月8日(金)	決算特別委員会(特別会計)
11月12日(火)	総務委員会
11月13日(水)	生活文教委員会
11月14日(木)	厚生委員会
11月15日(金)	建設委員会
11月19日(火)	請願・陳情締め切り(午前中)
12月3日(火)	12月定例会本会議(初日)
12月4日(水)	12月定例会本会議(一般質問)
12月5日(木)	12月定例会本会議(一般質問)
12月6日(金)	12月定例会本会議(一般質問)
12月10日(火)	総務委員会
12月11日(水)	請願・陳情締め切り(午前中)
12月12日(木)	生活文教委員会
12月13日(金)	厚生委員会
12月24日(火)	建設委員会
12月24日(火)	12月定例会本会議(最終日)

## 子ども議会を開催!!

去る10月6日に本会議場で子ども議会が開催されました。小平市の市制施行40周年に当たり、子どもたちに市の行政や議会の仕組みを体験学習してもらうとともに、21世紀を担う子どもたちの柔軟な発想によるまちづくりへの提案と意見を聞き、その斬新な考え方を次期長期総合計画の策定に生かしていくことが目的です。

総勢27人の子ども議員たちの鋭い質問に、満員の傍聴席も感心しきりでした。



議長



副議長

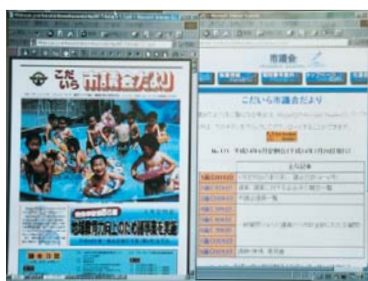


満員の傍聴席

### 市議会だよりのHPへの掲載を 始めました

小平市ホームページの充実と議会広報の電子化の一環として「こだいら市議会だより」がホームページでも見ることができるようになりました。

小平市ホームページの市議会のコーナーでPDF形式により掲載してあります。平成14年3月定例会号から掲載しており、今後、直近の4号分を掲載して



小平市ホームページ

### あしがき

ことしは小平市の市制施行40周年の記念すべき年です。その記念事業の一つとして、子ども議会が開催されました。21世紀の小平を担う子どもたちの質問は、遠い昔に私たち大人が忘れてしまったものを思い起こさせてくれたような気がします。

これを機会に、子どもたちの議会への親しみと関心が深まっ

紙面についてお気づきの点がありましたら、議会事務局までお知らせください。

〒187 8701 小平市小川町二丁目1333番地

議会報編集委員会

小平市議会事務局

042(346)9566

042(346)9567